



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

FEBRUARY 1991 vol. 8
 The Service Club to the YMCA
 Chartered September 25, 1982

MOTTO (1990~1991)

- | | |
|--|------------------|
| IP Individual effort makes the difference. | 個々の相異で輝く業を |
| AP Think Globally, Act Locally. | 地球規模の発想でローカルな実践を |
| RG DG One Step for the Future | 未来に向かって一歩 |
| CP | 活気ある協力に生きよう |

今月の強調テーマ TOF (CS)

今月の聖句

あなたがたが、わたしから学んだこと、受けたこと、聞いたこと、見たことは、これを実行しなさい。そうすれば、平和の神が、あなたがたと共にいますであろう。
 (ピリピ人への手紙第4章9節)

ワイズメンズクラブ・モットー

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 「強い義務感をもとう。
 義務はすべての
 権利に伴う。」

2月第1例会

日時 1991年2月20日(水) 6:30~8:30P.M.
 会場 YMCA国際社会奉仕センター

司会 津田葉清政君

- | | |
|------------------------|--------|
| 1、開会点鐘 | 福永嘉彦会長 |
| 2、クラブソング | 同 |
| 3、聖句朗読 | 川越利信君 |
| 4、ゲスト紹介 | 福永会長 |
| 5、卓話「Time offFastを考える」 | |

- | | |
|-----------------|-------|
| 6、報告「EMCシンポジウム」 | 谷川 寛君 |
| 7、3分間スピーチ | 鈴木謙介君 |
| | 中堂祐保君 |
| | 隅田 保君 |
| | 堀 利満君 |

- | | |
|----------|-------|
| 8、お誕生祝い | |
| 9、ニコニコ献金 | ドライバー |

10、役員会、委員怪報告、YMCAニュース

11、閉会点鐘 福永会長

今月は全世界のワイズメンズクラブがTOFタイムオブファースト(断食の時)の月として、食事をやめ、その経費を国際協力に捧げます。

今月の当番

谷川君、田中君、
 黒田君、川越君、
 津田葉君、村田君
 (会場設営準備、
 あと固唾毛をお
 願ひいたします。)



1月 出席状況

会員数	36名
第1例会出席会員	20名
ゲスト	7名
メネット	4名
第2例会出席怪員	12名
うちMU	2名
中西部新年会参加	11名
うちMU	1名
*出席率	63. 89%(前月 72. 97%)

Happy Birthday to following people:

足立君	2月3日	福永メネット	16日
川越君	8日	松尾君	19日
河野メネット	24日	松添君	5日
田中メネット	19日	村田君	3日

1月 BF報告

	現金	切手
1月	2. 232Pt.	2. 200Pt.
累計	45. 206Pt.	17. 120Pt.

1月切手提供者:

鈴木君、足立君、福永君、平田君、隅田君、
 田中君、山田君、佐藤君、秋月君、津田葉君、
 柴田君、伊藤君、苦勞多君、杉浦君

(注)大阪千里クラブの森田メネット会員より未
 使用記念切手を沢山いただきました。プレテ
 ン発送用に使わせて頂くことにし、その分を現
 金ポイントとしました。感謝いたします。

確かな日本語で

故郷を語った留学生たち

(1月第1例会 報告)

田中 穰 二

当クラブ1月例会は1月13日に開かれ、アジア地域から大阪YMCA日本語コースに在籍する留学生によるパネル・ディスカッション「私のふるさとを語る」がメインプログラムであった。当クラブはこれまでから、日本語コース在籍の留学生の話を書く機会にめぐまれているが、今回のパネル・ディスカッション(パネリストは中国黒龍江省出身の朱勝出君、韓国済州島出身の洪胤実さん、同じく韓国釜山出身の呉東淑さん、台湾台中出身の謝如君さんの4人)も大変興味深いものであった。紙面の都合で一人一人の話の内容を紹介出来ないが、4人に共通していたのは、日本の、とくに大阪YMCAで勉強出来たことへの感謝と、今後さらに日本理解に努めて、日本と自分の国との友好に役立ちたいという気持であった。

話のあとの活発な質問の中で、日本に来て感じたことは何かという質問には、日本人とくに大阪人ははや足で歩き、めまぐるしいとか、テレビのコマーシャルが多すぎるとか、若い人と話すと遊ぶ話ばかりで、生きがいか愛国とかは考えていないのに驚いたとか、恐らくそうではないかと予想出来る答えであった。また駅や車内でのアナウンスが多すぎないかという質問には、むしろ親切でよいという答えが出されて一寸意外であった。

最近、日本語教育の普及や内容の充実で正確な日本語を話す外国人が増えているが、今回の場合も、くせのない日本語に感心したり、これまで東南アジアからの留学生は帰国すると反日になるとよく言われたものだが、今回の話を通じて真の友好の根が若い人々に定着しつつあるのを感じたことなど、示唆にとんだ例会であった。

まちがい捜しクイズ

このブレインに幾つ誤字があるでしょうか?

クイズ応募方法

お送りしたブレインの誤字に赤色で印をつけて、2月第1例会で編集委員までご提出下さい。替わりのブレインは当日差しあげます。

応募資格

ワイズの関係者ならどなたでも応募できます。発表並びに賞品

上記第1例会で発表し、正解者多数の場合はあみだくじで当選者を選び、1名に賞品をさしあげます。

2月第2例会

日時 2月27日(水)6:30~8:30P.M.

場所 YMCA国債奉仕センター

ミンナデ話シアウ場デス。誰デモ来会歓迎。

ワイズハートを

隣り人のために

CS・TOF事業主任

小西正数

☆ 奉仕のとなりがワイズです

1991年2月-今年も「TOFの月」の到来です。

20年前、ワイズメンの国際的な研究課題として、Human Crisis (人類の脅威 人間性の危機) がとり上げられ、飢餓、貧困、病気、難民、青少年非行、犯罪等が論じられ、その共通のシンボルとして「節食断食」による食費節約分を献金して、国際プロジェクトへの資金とすることから始められたのがTOF運動です。近時ヒューマンクライシスの主要関心事が飢えや貧困問題等から次第に地球環境保全や資源保護等に移行しつつありますが、依然として前記の諸難題が解消されたわけではありません。人類生存のための「地球にやさしいワイズハート」のシンボリックなプログラムとして「TOF」を再認識する「あと10年」です。

★ 豊かさで生きている喜びに感謝を

ワイズダムの世界規模でのプロジェクトとして、本年から「Community Development & Family Involvement (家族ぐるみで地域開発)」のテーマのもとに展開される国際TOF運動に日本区では1名1,500円を目安に献金を呼びかけています。これは任意でもなく、又強制でもありません。全メンバーの参画意識によって完遂されなければなりません。

☆ 今、食改めるとき

金満飽食グルメのジャパニクイズよ! GNP360兆円(2.6兆ドル)の日本のワイズメンの国際の場に於ける存在価値を発揮する絶好の機会-それが2月です。

★ 飢えには上がある。狭い日本、そんなに太ってどこに住む

太りすぎ-悲劇的な文化現象です。重い、立って減食を! 成人男子一日のエネルギー所要量2,500キロカロリー以外に隣人のために捧げるべきです。「食事で一日500Kcal、運動でもう500Kcal」減らせば一週間後に2ポンド(900g)の減量に成功してジェントルマンどころかワイズマンになれますよ。

☆ 「一升のお願い、人はパンのみでは生きられぬ。おかげも必要だ」

2月を契機に1日10円、1日3%、そしてTOF365日をおかずに否モットーにしてご精励の程を。

「エデンの東」より「お膳の西」と言う勿れ。

★ 膳は急げ! TOF献金の締切りは3月31日(日)デス。

「何枚当たりましたか？」

お年玉切手シート 当選番号 CS事業委員会

4等(切手シートアルバム)

下3桁 549 325 407

5等(切手シート)

下2桁 21 80 14 20

まだの方は早速調べて郵便局で交換し、2月例会にご持参下さい。CS資金としての今年の提供目標は、各自1500円です。切手で足りない分は現金ポイントで補ってご協力をお願いします。例会に出席できない方は「奉仕センター気付けセンテニアルCS委員・山田」宛郵送して下さい。(2月末日期限)

ファミリーファースト献金のお願い

TOF事業委員 山田

2月はTOFの月。例会の食事を断食して、国際的TOF資金に提供します。既にプリテンでお願いしておりました(11~12月号参照)各ご家庭でのファミリーファーストによる『1日10円献金』も合わせて送ります。2月例会に(不都合の方は3月例会でも結構です)ご持参下さい。

ブラザー・クラブ便り

谷川 寛

インドのブラザー、ERNAKULAM CLUBのC. K. THOMASさんから便りがありました。昨年末に贈ったセンテニアルからの1991年のPICTURE DIARYを、間違いなく受取り、会長のC. N. PILLAIに渡したこと、会長は大変喜んでおり、大阪センテニアルの皆さまにお礼の言葉と、よろしくというメッセージを伝えてほしいとのことでした。

同クラブから国際会長に立候補しているB. K. KRISHNANをよろしく支援してほしい、とも書いてありました。

なお、ERNAKULAM CLUBから送られて来た同クラブのブレティンが到着しており、受取った旨の返事も出してあります。

＊

香港のBAUHINIA CLUBからもクリスマス・カードが到着しています。

＊

ハワイのNUUANU CLUBのLARRY HIRANA KAさんよりクリスマス・カードとともに、同氏に伝えた当クラブの森庄司元会長の亡くなられたことを大変深く悼んでおられ、森末亡人宛にもお悔やみのレターを書いた、とありました。

大阪サウスワイズメンズクラブ

35周年記念例会

来る4月7日(日)2:00~5:00P.M.から、大阪南YMCAにおいた開催されます。(会費3,000円)

当日のゲスト・スピーカーには、わがクラブの鈴木謙介氏が迎えられておられます。

日頃は中西部と阪和部に分かれて顔を合やす機会の少ないサウスの例会に参加いたしましょう。

ワイズとYの前置詞クイズへの回答

センテニアル・ブレティン・エディター

黒田 巖之

昨年8月25日付で日本区Yサ、ASF事業主任松田俊彦氏から、各部、各クラブに対して次のような「問いかけ」があり、これを2月までにブレティンで回答するよう求められておりました。

「問いかけ」の要旨は

『ワイズはYMCAの(of)クラブとして誕生して、ワイズの目的の第1はYMCAのための(for)サービスクラブです。』

約10年前よりワイズはYMCAの一部ではなく、ワイズとYMCAは別個の団体であるという主張からYMCAへの(to)サービスクラブが強調されるようになりました。

同時に、YMCAとの「パートナーシップに関する原則」に従って、YMCAと共にある(with)、又はYMCAと共に働く(with)サービスクラブが考えられるようになりました。あるいはYMCAを通して(through)地域社会への奉仕をするクラブが基本的な在り方なのかも知れません。その他の前置詞も考えられます。

あなたのクラブでは、どのような哲学をもって、いずれの前置詞を選択されますか。』

＊

これに対し次のように回答します。(但し以下はエディターの個人的見解であることをお断りいたします。が、今後ともクラブ内で討議してゆく予定です。)

『当クラブでは「to the YMCA」を標榜しております。これは既に上記の松田主任の「問いかけ」の文にもあります通り、ワイズとYMCAは別個の団体であるという主張に立脚しております。』

一般的に云って、別個の団体が効果的な協力関係を保つには、両者がその主体性(独自性)を明確にしてこそ、はじめてよい協力関係が生じるものです。例えば、教会一致(エキュメニカル)運動にしてもプロテスタントとカトリックが協力するとき、両者の教義的な特色を活かしながら、協力できる場面で協力することにより、両者の主体性を侵すことなく協力の実を挙げています。

また、「多様性の一致」Unity in Varietyという言葉がありますが、それぞれの団体(あるいは個人)がその独自性を堅持しつつ、なおかつ、協力しあうとき、双方の持ち味を活かした協力がなされます。

YMCAとワイズの場合でも、YMCAはその目的や使命に向かってその事業を押し進め、一方ワイズは、YMCAにおもねることなく、また、頼り、甘えることなく、そのクラブ活動の独自性を確立しつつ、その中心的な活動として、YMCAへの(to)サービスを行なうべきです。

しかし、そのためには、ワイズ自身がクラブとして、強くなければなりません。質的にも、量的にもYMCAへの奉仕がなしうるだけの実力を備えなければなりません。(以下次ページへ続く)

前置詞クイズへの回答(つづき)

我がクラブは会員の居住地分布において、3府県、17市にまたがり、年齢的には、殆どが所属会社、団体、学校の中堅の働き手であるため、責任上自分の時間をコントロールしにくい立場にあります。従って、いわゆる都市型のワイズとして、クラブ活動を維持することは極めて困難な条件を持っています。にも拘らず、会員は意欲旺盛で、メネット会も熱心であり、その主たる奉仕目標の「留学生援助」(YMCAへの(10)サービスクラブとして)の実を挙げている現状です。

松田事業主任の云われる「ワイズとYの関連図」では、ワイズとYMCAを円で表したとき、二つの円が接点で強く結ばれている第4図に当たるでしょう。

中西部合同新年会に参加して

三浦直之

去る1月12日(土)午後4時から大阪天満のキャッスルホテルを会場として開かれました。

同ホテルの6階に上がると、ロビーにずらりと、今日のホストの大坂ワイズのメン、メネットのみなさんが暖かく迎えて下さり(それでも会費はちゃんと取られました)クラブの違いを超えて、ワイズメンとしての親しさと喜びを、先ず、感じました。

わがセンテニアルからは鈴木ご夫妻をはじめ11名が参加しました。

型通りの点鐘やワイズソングも、8クラブ合同で人数も多いせいか、何か力強く感じられ、矢張りこのような合同の会合には来てみるものだと思えました。

御馳走は大変なもので、私の好きな海鮮料理も多くまたビールや水割りも豊富で大いに満足しました。

呼び物のデキシーランドジャズはセミプロながら見事な演奏でしたし、リズムに合わせながらの即興ダンスでは、前の人の肩に手をかけて列をつくらせて踊り歩き(大坂ワイズの岩越さんのは阿波おどりでしたが)会場が一つに溶けあって楽しいムードでした。

カラオケ・タイムではセンテニアルの代表選手として、谷川さんが素晴らしい声を聞かせて下さいましたが、その前に、福永会長から「三浦さん、代表で歌って下さいませんか」と声をかけられたときは、芸なしの私は身のちぢむ思いをしました。

最後にこまかいところまで気を配って運営に当たられたホストクラブの皆さんに感謝しつつ報告を終わります。

東京ワイズメンズクラブ

創立60周年記念会

大阪ワイズに次いで我が国で第4番目に設立された東京ワイズが、創立60周年の記念行事を下記の通り挙行されます。

前夜祭 1991年2月9日(土) 18:30~20:30

ベルマンズボルカにおいて

記念会 1991年2月10日(日) 9:00~15:00

東京YMCA国際奉仕センターにおいて

メネット会 報告

福永 滋子

1月14日(月)、大坂YMCA日本語学校の留学生の成人式に、メネット7名(伊藤、黒田、佐藤、隅田、田中、山村、福永)の方々が出席して下さい、11名の成人になられた方々に祝福をさせていただきました。先生方の寄せ書きの色紙と、当メネット会からのささやかなプレゼントを差しあげ、お菓子とジュース等でお祝いをしました。

11名の方々は大勢のお友達に囲まれて、まだ日本語での表現はむつかしそうですが、それでも、一人一人が大人の仲間入りをした感想を、一言づつ語られました。

人生の一つの節目を日本留学で迎えられた方達が夢と希望に満ちた青春を、力強く歩み、学んで頂きたいと思いました。短い時間でしたが心温まる一時を過ごすことができ感謝でした。

そのあとレストラン「自立平和」で昼食を頂きながら賑かにおしゃべり会を楽しみました。

次のメネット会は3月6日(水)を予定しております。

ワイズソング 1、

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing
We raise our hand, our service pledge renewing,
Ne'er to deny our motto's claim
Y's Men in fact as well as name
Always our objects to pursue
We consecrate ourselves anew.

2、

うたえば ころろひとつに
ともがき ひろがりゆきて
遠きも 近きもみな
ささげて 立つやワイズメン
栄えと ほまれ豊か
まことは 胸にあふれん

編集後記

- 1、日本区CS、TOF事業主任小西正数氏の文章は「まちがい探しクイズ」の対象から除外いたします。
- 2、今月の聖句は昨年に引き続き田中穰二君に選んで頂いています。
- 3、今月の強調テーマはTOF(CS)ですが、CSは地域社会奉仕の意味で、タイムオブファーストで浮かせた食事代をCS(コミュニティ・サービス)のために献金することがその趣旨となっています
- 4、東京ワイズの60周年記念行事の会費は
前夜祭 メン 1万円 メネット 8千円
記念会はメン、メネットとも8千円です。
- 5、3分スピーチ担当の方々にはこのプレテンでお願いする、いわば新聞辞令になりますが、失礼をお詫びしつつ、よろしく願い申し上げます。